



2020年6月9日

各 位

| | |
|-------|--|
| 会 社 名 | アーランドサカモト株式会社 |
| 代表者名 | 代表取締役会長（CEO） 坂本 勝司 （コード番号 9842 東証第一部） |
| 問合せ先 | 取締役管理本部長 志田 光明 （TEL. 0256-33-6000） |

資本業務提携契約の締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社LIXILビバ（以下「LIXILビバ」といい、当社と併せて「両社」といいます。）との間で資本業務提携（以下「本資本業務提携」といいます。）に係る契約（以下「本資本業務提携契約」といいます。）を締結することを決議いたしましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

1. 本資本業務提携の目的及び理由

当社が本日付で公表いたしました「株式会社LIXILビバ株式（証券コード 3564）に対する公開買付けの開始及び資金の借入れに関するお知らせ」（以下「公開買付け開始プレスリリース」といいます。）に記載のとおり、本日開催の取締役会において、当社は、LIXILビバ株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を実施することを決議するとともに、本公開買付けが成立した場合の両社間の本資本業務提携について定めた本資本業務提携契約を締結することを決議しております（本資本業務提携契約は、本公開買付けが成立することを条件として効力を生じるものとされております。）。なお、本公開買付けの詳細については、公開買付け開始プレスリリースをご参照ください。

本資本業務提携は、両社の統合により、ホームセンター業界において、近年の自然災害等の発生をも踏まえ、ホームセンターの社会的使命を果たすべく、「安心安全な住まいの提案とより豊かな暮らし」を実現することを目的としております。

また、両社は、かかる目的を達成するため、プロ顧客に対しては「リフォーム関連資材の総合プラットフォームの確立」を目指すものとし、一般顧客に対しては「変化するニーズに合わせた売場・商品提案、新たなサービス提供の取り組み」を実施するものとしております。

2. 本資本業務提携の内容等

両社は、本公開買付けの成立後速やかに、両社の役職員を構成員とする統合委員会を設置し、本資本業務提携契約の目的の早期実現に向け、事業運営方針等に関する協議を開始するものとしております。かかる協議には、以下に定める事項が含まれるものとしております。

① 対等の精神に基づき 2021 年度にホールディングカンパニー制への移行を目指すこと

- ② 商品開発、共同仕入、テナントリーシング、施設管理、不動産運営、物件開発、EC（電子商取引）事業、決済サービス及び販売促進の各分野において、それぞれ、事業の運営方針等について検討を行い、これらを実施すること
- ③ 共同のエリア戦略に基づく出店、店舗フォーマット、運営体制、M&A について検討を行うこと
- ④ 将来的な本部機能再編、システム・物流の共通化、人事制度、人材の採用・教育、顧客管理、グループブランディング等についての検討を行うこと

また、両社は、以下の各項目に関する相互の業務提携について検討し、かつ実行するものとしております。

- ① PB（プライベートブランド）商品の共有及び新規共同開発
- ② 商品の共同調達
- ③ 什器、備品、資材等の共同調達
- ④ 出店戦略、店舗運営戦略の協働
- ⑤ M&A 関係の情報共有、協力
- ⑥ EC（電子商取引）ビジネスにおける協力
- ⑦ 海外展開の強化

3. 新たに取得する株式の数及び発行済株式数に対する割合

公開買付け開始プレスリリースの「I 本公開買付けについて 1 買付け等の目的等 (1) 本公開買付けの概要」をご参照ください。

4. 本資本業務提携の相手先の概要

| | | |
|---|--|--------|
| (1) 名 称 | 株式会社L I X I Lビバ | |
| (2) 所 在 地 | 埼玉県さいたま市浦和区上木崎一丁目 13 番 1 号 | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長兼CEO 渡邊 修 | |
| (4) 事 業 内 容 | ホームセンター事業、リフォーム事業、ヴィシーズ事業、デベロッパー事業 | |
| (5) 資 本 金 | 24,596 百万円 (2020 年 3 月 31 日現在) | |
| (6) 設 立 年 月 日 | 1977 年 4 月 | |
| (7) 大株主及び持株比率 (2019 年 9 月 30 日現在) (注 1) | 株式会社L I X I Lグループ | 53.22% |
| | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 5.19% |
| | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 3.69% |
| | CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL (常任代理人シティバンク、エヌ・エイ東京支店) | 2.23% |
| | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 9) | 2.13% |
| | BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) (常任代理人 株式会社三菱 UFJ 銀行) | 2.04% |
| | アークランドサカモト株式会社 | 1.33% |
| | STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS | 1.16% |

| | | | |
|--------------------------|---|----------|----------|
| | ACCOUNT OM02 505002 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部) | | |
| | JUNIPER (常任代理人 株式会社三菱 UFJ 銀行) 1.15% | | |
| | BBH LUX/DAIWA SBI LUX FUNDS SICAV - DSBI JAPAN EQUITY SMALL CAP ABSOLUTE VALUE 1.12% (常任代理人 株式会社三井住友銀行) | | |
| (8) | 当社とL I X I Lビバの関係 (2020年3月31日現在) | | |
| 資 本 関 係 | 当社はL I X I Lビバ株式 585,000 株 (所有割合 (注2) : 1.33%) を所有しております。 | | |
| 人 的 関 係 | 該当事項はございません。 | | |
| 取 引 関 係 | 当社からL I X I Lビバへ金物等の販売を行っております。 | | |
| 関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況 | 該当事項はございません。 | | |
| (9) | 最近3年間の財政状態及び経営成績 (単位: 百万円) | | |
| 決算期 (注3) | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 |
| 連 結 純 資 産 | 59,444 | 62,864 | 66,260 |
| 連 結 総 資 産 | 172,799 | 178,333 | 190,656 |
| 1株当たり連結純資産 (円) | 1,329.26 | 1,433.21 | 1509.08 |
| 連 結 売 上 高 | 177,953 | 180,926 | 188,506 |
| 連 結 営 業 利 益 | 10,717 | 10,817 | 10,010 |
| 連 結 経 常 利 益 | 10,033 | 10,112 | 9,389 |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 6,708 | 18,442 | 6,597 |
| 1株当たり連結当期純利 益 (円) | 150.45 | 414.79 | 150.29 |
| 1株当たり配当金 (円) | 41.00 | 50.00 | 50.00 |

(注1) 「大株主及び持株比率 (2019年9月30日現在)」は、L I X I Lビバが2019年11月8日に提出した第28期第2四半期報告書の「大株主の状況」を基に記載しております。

(注2) 「所有割合」とは、L I X I Lビバが2020年5月11日に公表した「2020年3月期決算短信 [日本基準] (非連結)」に記載された2020年3月31日現在の発行済株式総数44,720,000株から、2020年3月31日現在のL I X I Lビバが所有する自己株式数(812,007株)を控除した株式数(43,907,993株)に対する割合(小数点以下第三位を四捨五入)をいいます。

(注3) 2018年3月期は連結、以降は、2018年4月1日付で連結子会社4社を吸収合併したことにより、単体での業績開示となっております。

5. 日程

| | |
|---------------------------|-----------------|
| (1) 取 締 役 会 決 議 | 2020年6月9日 |
| (2) 資 本 業 務 提 携 契 約 締 結 日 | 2020年6月9日 |
| (3) 本 公 開 買 付 け の 開 始 | 2020年6月10日 (予定) |
| (4) 本 公 開 買 付 け の 終 了 | 2020年7月21日 (予定) |
| (5) 本公開買付けに係る決済の開始日 | 2020年7月30日 (予定) |

6. 今後の見通し

本資本業務提携は、当社の中長期的な企業価値の向上に資するものであると判断しておりますが、現時点では、当社の2021年3月期の業績に与える具体的な影響額については未定です。

今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上